

保育おおさか

平成18年5月1日 第369号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

ごあいさつ

大阪府 児童家庭室

2 課体制で再スタート

4月から、大阪府児童家庭室の体制が変わりました。

そこで、新しくスタートした児童家庭室から、飯尾室長と小原子育て支援課長にご挨拶をいただきました。

効果的に

支援の施策



児童家庭室長

飯尾 慎太郎

児童家庭室長の飯尾でございます。

保育部会の皆様には、日ごろから本府児童福祉行政の推進に格別のご協力をいただき、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、このたび児童家庭室は、児童虐待対策の充実や次世代育成支援行動計画の推進など、児童家庭施策の課題に迅速かつ効果的に

対応するため、家庭支援課と子育て支援課の2課体制に再編し、再出発しました。

家庭支援課は、児童虐待防止対策・児童家庭相談業務と、これまで施設課が担当していた児童養護施設などの指導監督を行います。

また、母子家庭などの自立支援施策、DV関係、児童手当などを担当します。

子育て支援課は、これまで家庭支援課が担当していた特別保育などの保育サービス施策や在宅の子育て家庭への支援施策を行うとともに、保育所や認可保育施設の指導監督、「認定こども園」を担当します。

これにより、子ども家庭センターと児童養護施設、また、女性相談センターと女性自立支援センターといった措置機関と要保護児・女性援助施設などとの連携の強化、保育・子育て施策の効果的な推進を図ってまいります。

保育所は様々な保育サービスの提供の場であるとともに、児童虐待の早期発見

にも重要な役割を担っていただいております。

保育部会の皆様方には、大阪の子どもが心豊かに健

2グループで

効率アップ



子育て支援課長

小原 伸生

昨年度に引続き、子育て支援課長に就任いたしました小原でございます。

当課の2グループの新体制について、ご説明させていただきます。

子育て推進グループは、市町村行動計画の進捗管理やソフト交付金事業に関する助言・指導など「次世代育成支援行動計画の推進」、児童館事業の推進など「児童の健全育成施策の推進」、認可外保育施設の指導監督などによる「子どもの権利

やかに成長できるよう、今後ともよろしく願っています。

擁護」を柱とし、すべての子育て家庭における子育て力のアップを目指した子育て支援策に取り組んでまいります。

保育指導グループは、昨年度、保育所整備を担当していた施設整備グループと保育所の認可などを担当していた管理グループの業務を一本化させるとともに、従前まで家庭支援課で行っていた一時・特定保育事業など、いわゆる特別保育事業の業務も加え、「仕事と子育ての両立支援」の観点から、保育所における子育て支援業務を効率的、効果的に推進してまいります。

また、認定こども園につきましましては、国の動向を注意深く見守りながら、関係機関と連携し対応してまいりますので、今後ともご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。



春から二男が下宿生活を始めた。志望校合格で意気揚々と家を出ていった。反対に意気消沈の私。自宅から約400キロ離れた彼のもとには、頻繁に行くことはできない。ご飯を炊く量、洗濯物の数の減少に彼のいなくなったことを実感する。天気予報も地元より下宿先の方が気にかかる。

彼へのメール送信は、私の日課。こちらの長いメールにいかにも面倒くさそうで「元氣」「大丈夫」とたった一言の短い返信。時々、テレビ電話もする。便利な世の中だが、彼にとっては、逆に不便なのかもしれない。3世代7人家族で育った彼が一人暮らしになり、さぞかし寂しい思いをしているのだろうと思うのは、私の私だけで、学生生活やクラブで忙しく青春を謳歌してくれるにちがいない。

下宿からは、富士山が見える。圧倒的な美しさ。富士山が、喜怒哀楽、揺れ動く彼の心を癒してくれるだろう。

大学生になり二男の子育ては、終わり。だけど子離れは、したくない。いつも彼の応援団でいたい。

(K・T)

誇り、傾聴、信頼... 保育士として 新任職員研修会

平成18年度から採用される職員を対象に、3月23日と30日の2日間、大阪府社会福祉会館で新任職員研修会を開催しました。

参加者はそれぞれ232人と247人で、社会人としてのマナーや保育園の現状と課題、これから保育士としてどうあるべきかなどを学ぶ研修会となりました。

まず、「保育士に求められるマナーの実践」と題し、これから専門職として、また社会人として働くうえでのビジネスマナーの基本や心構えについて、人材育成コンサルタントの増田知乃さんから講演をいただきました。



増田知乃さん

増田さんは、社会人として保育園という組織で働くうえで必要なチームワークや、保護者と関わる時の心構え、また、敬語の使い方などについて話されました。そして、いろいろな価値観を持つ人がいる中で、批判や否定の気持ちが出てくることもあるが、傾聴の気持ちを持って関わるのが大切だと話されました。

最後に、「先生に子どもを預けて良かった、先生で良かった」と保護者に言ってもらえるような、素敵な保育士になって欲しいと講演を締めくくられました。

次に、「保育所保育の現状とこれからの課題」と題し、今までの保育の流れとこれからの課題について、神戸親和女子大学の寺見陽子教授にお話しいただきました。



寺見陽子教授

保育士が国家資格になり、専門性が求められるようになりました。また、核家族化、少子化が進み、また、地域・家族の教育力も低下してきています。子育てに對し不安を抱える保護者が増え、「子育て支援」が必要だといわれ、保育園の役割が重要視されてきています。

そのような中、これからの保育士は子どもの安全を守る役割だけではなく、「家庭」の代行として、「教育」的機能も果たさなければならぬこと、気持ちに寄り添った上で親支援、子ども支援していくことが必要であることを話されました。

保育園は子どもの生きる力と自我を育てる場所であり、人間関係をつくっていく場所です。園で働く保育士として、①保育実践力を身につけること、②子育て支援など、さまざまな保育に関する専門性を身につけること、③対人援助の技術を身につけること、④守秘義務、⑤保育の質の向上に努めること、などが必要だと話され、講義を終えられました。

最後に、「専門職としての保育士にむけて」と題し、前全国保育士会会長で、大阪府保育士会の武内茂子会長にお話しいただきました。

武内会長は、子育てに関する唯一の専門職である「保育士」の専門性について話されました。

まず、子どもから日々エネルギーをもらって保育に欠かせられる保育士という仕事を、誇りだと思っていきたいと述べられました。

また、子どもの感性を育てるためには、まず自分の感性を育てることが必要で、そのためには、日々見るものを、感じ、表現力をつけることが大切であると話されました。

そして、全国保育士会の倫理綱領を紹介され、初心を忘れず、絶えず向上心を持ち、専門職として自己研鑽や研修に励んで保育にあたって欲しいと話されました。



武内茂子会長

新任研修を受けて

◆ここからがスタート
保育士として、ひとりの人間として、周囲の人とどのように関わっていかねばよいのかを学びました。

信頼関係をうまく築くためには、日々の元氣な挨拶、相手への心配りや思いやりの気持ち、相手の立場やその場の状況に適した言葉の使い分けが重要であること、相手を比較・非難・否定するのではなく、受容・共感し、傾聴の気持ちをもって関わるのが大切であることを学びました。

◆初心を忘れず努力
保育士として働くことに改めて責任感を強く感じました。

より良い保育を実践するためには、子どもの気持ちを十分に受け止め、保護者や地域との連携、保育士同士のチームワークが大切であると学びました。そのことを頭に置きながら、まずは子どもたちとたくさん愛情を注ぎ、信頼関係を深め、安心して保育園で生活できるように努めていきたいです。

日々の多くのことを学び、ひとつずつしっかりと教えていただきました。保育士になったことがゴールではなく、ここからスタートだと感じました。これから先輩の先生方や周囲の方々からたくさん学ぶ、きちんと吸収し、活かしていきたいと思っています。そして、子どもと一緒に多くのことを経験し、ともに学び成長できる保育士になりたいと思います。

これらのことを心に留め、保育士という仕事に誇りと責任を持ち、これから信頼される良い保育士になれるよう頑張りたいと思います。(堺東保育園 S・F・N・O)

今は期待より不安のほうが大きく、悩むことも多いですが、周りの先生方に支えられながら頑張っていると感じています。

会場にはたくさんの新人保育士が集まり、皆が自分と同じ気持ちなのだと思わずに少し安心し、心強く感じました。初心をいつまでも忘れずに、今回の研修で学んだことを現場で活かしていけるよう努めていきたいと思っています。(ギンガ保育園 A・Y)

保育の 恋②

地域社会から 求められる 保育園として

北大阪ブロック

第三者評価事業

調査すでに32件

保育所に対する第三者評価については、全保協協が全国レベルでの評価基準の開発および評価調査者の養成とともに評価事業を実施してきましたが、この間、府社協でも大阪府内の保育所の実態に即した独自の評

価基準の開発と評価調査者の養成を進め、昨年11月から保育所に対する第三者評価事業を本格的にスタートさせました。

福祉サービスにおける第三者評価は、利用者本位の福祉システムを構築してい

く中で、サービス利用の仕組みを措置から契約へと移行していくことと併せ、福祉サービスの質を高めることと利用者の選択に資することを目的に、その実施が求められてきたものです。

保育所の第三者評価項目は、福祉サービスの基本方針と組織、適切な福祉サービスの実施、子どもの発達・生活援助など全部で90項目。これらについて、所定の研修を修了した調査者2人が2日間訪問して調査を実施し利用者アンケートと併せ、

評価決定委員会の審査を経て評価を行います。開始してまだ半年程度ですが、昨年度は既に32の保育所に対して調査を実施しました。また、今年度も既に65の保育所から申込みをいただいております。府内保育事業者の方々のサービス向上にける熱意と利用者利便の向上に対する思いを強く感じているところです。その熱い思いに比べられるよう、府社協としても、評価調査者の養成や評価基準の見直しなど、評価技術のより一層の向上に向けて今後とも努めてまいります。

リスクマネジメント実践セミナーのご案内

保育部会主催で、6月から「保育園リスクマネジメント実践セミナー」を開催します。これは、保育園が保育サービス第三者評価を受審するに備えて、必要な業務を文書化するセミナーです。3週間に1度のペースで、1年に17回かけて構築していきます。

■社会全体で子育て支援を

平成15年7月「次世代育成支援対策推進法」の制定により、次代を担う子どもたちの育成が、社会全体の責任であるということが明確化されました。

近年、少子化や核家族化が進み、地域におけるコミュニティが崩壊していく中で、若いお母さんたちに育児不安が広がっています。0歳から笑わない子、泣かない子、離乳食を食べない子、睡眠リズムのつかない子ども、今「家庭の子どものホスピタリズム」が取り上げられ、家庭の子育てに対する支援と援助が大きく求められています。

す役割が大きいと考えます。乳児期は、保護者の育児における不安や戸惑いが大きい時期でもあり、保護者を励まし、支え、適切な育児方法を伝えることも乳児保育の役割になります。また、発達の気になる子どもが発見された場合、保育園と共

に、子育てをすることが、子どもの発達に良い場合が多いという認識も広がってきています。これらのことから、乳児保育の今日的意義は、①保護者の就労保障②子どもの発達保障③家庭の子育てに対する支援と援助にあるといえます。保育園における乳児保育の役割がますます拡大すれば、その保育内容の質の高さが求められることとなります。

■保育士の専門性

子どもの可塑性が最も大

さい乳児期に、どのような遊びや活動をするべきなのか、食事や排泄などの生活の指導は、具体的にどのような進め方があるのか、健康な生活リズムはどのように培っていけば良いのかなどを明確にし、経験的保育だけではなく、科学的裏付けされた保育を展開することが求められています。

さらに、乳児保育は、単に子どもを安全に預かるというだけではなく、発達上の問題の発見やその後のフォローや保護者のサポートなども行っていくかなければなりません。他の専門機関・専門職と連携することも必要になります。保護者の気持ちや理解し、受け入れながら対応する力も求められます。乳児保育に携わる保育士は、集団的に学びあい、

詳細なご案内は後日させていただきますので、各園ふるってご参加ください。

■北大阪ブロックの取り組み

大阪府保育部会北大阪ブロック会では、①食育の推進②乳児保育の推進③子育てへの地域支援、この三本の柱を掲げ、各園の保育実践を持ち寄り、学識経験者による研修会などを開催し、指導を仰ぎながら、これらについて取り組んで参りました。幼保一元化構想に伴う「認定こども園」が実施されようとする中、保育園にとつては選択をせまられる状況が予想されますが、研修会などを重ねながら、今後とも各園が、地域社会から求められる保育園として活躍躍けるようサポートして参ります。

保育部会 常任委員会 報告

4月17日 午後2時～

○平成17年度事業報告・収支決算(案)について
○平成18年度事業計画・収支予算(案)について
○平成18年度保育部会総会について
○公立保育所の民営化に関する要望の件
○その他

ブロックだより

各ブロックの18年度事業計画です。他のブロック活動をぜひ参考にしてください。

北摂ブロック(案)

4月6日 役員会
5月28日 職員運動会
5月30日 総会・研修会
6月 職員研修会
8月 職員納涼研修
10月 役員会・職員研修会
11月 年末研修会・懇親会
12月 バレーボール大会

北大阪ブロック

4月28日 役員会
6月5日 総会・理事長園長研修
7月頃 子育て支援研修会
8月下旬 職員研修会
12月初旬 年末理事長園長研修会・懇親会

河内ブロック(東大阪)

(事業部会計画)
6月2日 第9回わんぱくフェスティバル
6月 研修会(保育園における事故予防と危機管理)

河内ブロック(八尾)

6月 保育士研修会

7月1日 ボウリング大会
9月 研修会1これから保育園のあり方を考える
11月 研修会2
(給食調理研修)
6月 給食管理体制について
10月 調理実習・講演(保育士研修)
5月25日 行事を楽しむテクニク
6月 療育センター実習
7月 ことばを大切に
8月 芸術教育学校大阪大会
9月6・7日(主任・中堅)倉敷小さくら保育園見学
11月 障害児事例発表
12月 乳児保育

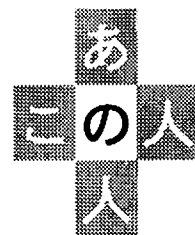
南大阪ブロック

8月 園長・理事長研修会
11月 保育士研修会
5月 総会・懇親会
7月 保育士実技研修会
10月 新任職員研修会
11月 中堅職員研修会
12月 保育士一泊研修会
研修会

堺ブロック

(園長研修)
6月20日 保育所の危機管理について
医療対策室医長 藤井史敏氏
7月18日 政令市における児童行政について
子ども部 田中 勉氏
9月19日 職場におけるハラスメントとは
城本多鶴子氏
10月17日 食育計画の実際
栄養士
2月20日 保育所における事故責任と対応、個人情報
報の取り扱いについて
福岡井護士
(保育士)
5月25日 救命救急法
堺消防署 救命係
6月5日 子どもの発達と環境 関西大学教授 井上寿美氏
6月29日 子ども理解と保護者支援
府立大学助教授 里見恵子氏
9月5日 今求められる子

島堺市の大仙保育園の柳川落穂先生は開設から50数年にわたり子どもたちの保育一筋に励んでおられます。
昭和33年には大阪府の保母会作りに、昭和48年には堺の保母会作りに参画し現在の保育士会の基礎作りにと、保育業界の歴史に身を持って体験してこられました。
毎朝7時には出勤し登園してくる子どもたちを笑顔でおはようと言葉よく迎え、夕方7時まで保育園児と楽しく過ごしておられます。
職員教育には、明るい笑顔で、明るい声で、今日に最善の想いをもって保育しなさいと教えて実行されておられます。
堺保育園連盟の重鎮として、また若い園長先生方の手本として、頑張っておられます。



保育園をたずねて

339

吹田市 千里ニュータウン保育園

新緑が芽吹く千里の丘で、阪急南千里駅から東へ丘を下がると昭和52年に開園した千里ニュータウン保育園があります。

平成9年に老人施設を併設したスタイルとなり、行事では、夏祭りやお餅つきなどでは、お年寄りと交流を深めておられます。

なかでも風船バレーやかるた取りは、園児もお年寄りも楽しめる行事の一つです。



子どもたちの笑い声、歓声、お年寄りのやさしい眼

差しが温かく見守ります。みんなの愛に包まれた保育園の印象を感じとれました。「千里の自然に恵まれた環境で、豊かな体験を通して自分なりに物を見たり、感じたりしながら、豊かな感性と創造性の芽生えを培うことを目標としています」と北村千香子園長談。

また和太鼓にも力を入れ、集中力やリズム感、協調性を養い、達成したときの充実感を体験しています。

泉州ブロック

(園長研修)
6月9日 総会・研修会
11月28日・29日 園長府外研修
(保育士研修)
5月13日 総会・記念講演
6月24日 未定
8月5日 未定

11月 20周年記念行事

*1月からの予定は次号に掲載します。

〈お詫びと訂正〉

4月1日発行、第368号に、誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。3面 保育の窓 下から2段6行目

「私立保育園」

「私立保育園」

発行所
大阪府社会福祉協議会
保育部
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集人 永 水